

第 12 号

2015 年 3 月 6 日

(平成 27 年 3 月 6 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8333 奈良市中新屋町
23 番地 中江ビル 302 号室
あすなろ行政書士事務所内

記紀万葉講演会、さわやかにキックオフ！

はじまりの土地・飛鳥から



井上さやか氏の講演

本年 2 月 8 日（日）、当会が企画した「なら記紀万葉を味わい楽しむ」シリーズ講演会の初回を開催し「記紀万葉の愉しみ—はじまりの土地・飛鳥から—」として井上さやか氏（奈良県立万葉文化館主任研究員）にご講演いただきました。275 名（会員 109 名・一般 166 名）もの方にご参加いただき、幸先の良いスタートを切りました。

次回は 5 月 30 日（土）に開催する予定です（講演会の詳細は P2 の記事をご覧ください）。

以下、その他の主な活動について、日付順に紹介いたします。

認定支援セミナーに初の協力



『万葉集』を解説

昨年 12 月 7 日（日）、奈良検定 2 級の認定支援セミナー（奈良商工会議所主催）に、4 人の講師を派遣しました。受講生の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

天理市制 60 周年記念バスツアー

当会が提案して採用された標記バスツアーの最終回（第 4 回）が 12 月 15 日（月）に開催され、多くの方にご参加いただきました。



内山永久寺跡を案内

春日野荘で講演会と懇親会

2014 年の年末納会は 12 月 21 日（日）に開催されました。懇親会に先立って講演会が行われ、大峯奥駈道をテーマに、当会の鈴木（英）理事、亀田理事、松田度氏（大淀町教育委員会主任技師）にお話しいただきました。



鈴木理事の講演

奈良佐保短大の後期授業が終了

昨年 9 月にスタートした奈良佐保短期大学での後期授業「奈良の伝統行事」は、小北理事長、鈴木（浩）副理事長、鉄田の 3 人が持ち回りで担当しました。

DVD でお祭りの動画を映したり、「しめ縄づくり」の実習をしたりと、様々に工夫を凝らした授業を行いました。

1 月 27 日（火）の最終回には「春日若宮おん祭」に関するプレゼンテーションが行われ、15 回の授業を締めくくりました。本年以降も、後期授業として継続する予定です。



学生たちによる最終プレゼン

ガイド・講演活動等にご協力を

当会が広く知られるに従い、観光ガイドや講演の依頼などが増加しています。その都度、募集をかけていますが、一部会員に負担が偏る傾向にあります。

NPO の使命は「社会への貢献」です。今後とも、多くの方のご協力をお待ちしています！

（専務理事 鉄田 憲男）

2014納会 第一部講演会

12月21日の「2014 納会」第一部として、会員の研究発表と大淀町教育委員会主任技師の松田度氏の講演があった。平成16年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録から10年の節目であり、「大峯奥駈道」を講演のテーマにした。実際に歩かれた鈴木英一・亀田幸英さんの奥駈道の紹介は写真でよく判り、その苦難の道中に手に汗握る感覚を覚えた。よくぞ歩かれたと拍手を送りたい。



松田度 大淀町教育委員会主任技師

松田先生の講演「奥駈道の歴史と現状」は、世界遺産の素晴らしさだけでなく、その問題点も指摘される新鮮な話であった。

「高野」は、刈場明神に加えて吉野の丹生明神も祀り、空海も吉野～高野を往還していたと伝えられる。「吉野」は豊かな(よい野の)地と好まれ、飛鳥・奈良時代の“原吉野”が、時代が下り吉野山中で参籠する人も増え、野から山へ広がり金峯山と称された。「熊野」は熊野三山への熊野詣が盛んだった。世界遺産・紀伊山地の霊場はこの三つの地域を結ぶものである。

10世紀始め、醍醐寺真言系の理源大師聖宝らが吉野側から山上ヶ岳を経て小笹・笹の窟へ向かったコースと、聖護院の増誉ら天台系の集団が熊野三山から北

上して深仙・前鬼へと向かうコース、これを結ぶルートが修験道“大峯奥駈道”として利用されるようになった。役小角をシンボルとし、修験道が山伏(修験者)を中心に今に続いている。

かつての神仏分離令の影響や女人禁制などの問題も、歴史の変遷を正しく把握する眼差しが必要であり、生態系もただ守るだけでなく、人が適度に関わり続けることでバランスが守られると。そして著作や一般的ガイドブックに頼りきりにならず、世界遺産の保存にも“実像を見直す”態度を持ち、自分達で考え、議論し、実践してゆくことが必要だと力説されました。その通りと共感します。

(小野 哲朗)

定期講演会「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」

『古事記』『日本書紀』が編纂され、多くの「万葉歌」が詠われた奈良。本年より、これらの歴史素材を活かした事業を、奈良まほろばソムリエの会として取り組んでいくことになりました。

具体的には、「本物の古代と出会い、本物を楽しめる奈良」という視点から、「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」をテーマに講演会を開催、本会の特色を活かした多彩で多様な事業を展開していきます。

単なる講演会だけに終わらせるのではなく、各自、各サークル、各グループが、独自に趣向を凝らした講演会と連動した企画、行事を実施し、記紀万葉ファンを初め

一般市民の方々と共に、「記紀万葉」に触れて楽しめる、奈良の新しいブランドを創出して参りたい。

2月8日には、井上さやか万葉文化館主任研究員による、「記紀万葉の愉しみーはじまりの地・飛鳥から」の演題で、記念すべきキックオフ講演会を開催。大きな反響を得、275名もの参加者が集い、大成功を収めることができました。

今後、記紀万葉にゆかりのある各地を順次巡り、向こう3カ年10回のシリーズ講演会を定期的で開催していきます。第2回は5月30日に奈良市内で開催することとしており、秋以降は、葛城市、

桜井市などを予定しています。



井上さやか万葉文化館主任研究員

「会員の熱意と知識・経験を活かし、奈良の歴史・文化・観光の振興に貢献する」という、本会の設立主旨に沿う形に具体化したこの事業を、会員皆様のご支援とご協力を得て、一層の定着を図り、大きく育てて頂けますようお願いするものです。(鈴木 浩^{ゆたか})

会員紹介「走るソムリエ」

私は、奈良へお越しいただく観光客の皆さまを観光ガイドタクシーとして第一線でお迎えしています。本当の奈良の良さを知って頂き、「また訪れてみたいな」と思って頂けるよう“奈良の観光親善大使”を心掛けています。

鉄田専務理事から“走るソムリエ”とブログにて命名して頂き、大変気に入っています。名前に恥じないように、奈良ファンを一人でも増やしたいと、“楽しく”をモットーにご案内するように心掛けています。

最近いろんなところで「ソムリエの吉田さんですよ」と声をかけて頂き、有難い事です。皆からは「検定試験をうまく活用しているな」と言われます。思い出に残るように拘りを持ち、例えば桜、紅葉、お寺な

どのファイルを作成、お気に入りの名刺は奈良らしい景色の写真入り、鹿寄せ用のどんぐりを準備、また音も旅を感じる素材と、車のHDに録音した鐘の音を東大寺の大鐘の前で十個のスピーカーから臨場感たっぷりに聞いて頂き好評です。



荒井奈良県知事（左）と

お客様から「今日は楽しかった」と言われればいいのですが、「勉強になりました」と言われれば失敗と感じます。昨今は奈良検定が認知されてきて「検定合格者を！」と指名されるのを見聞きし、嬉しいことです。観光タクシーは長時間お客様とご一緒に過ごすので、ありのままの人間性を知って頂くようにしています。

最近“記念日”やご自身への“ご褒美”旅行にご利用頂く事が多くみられることから、奈良で最初の最上級セダンレクサス LS の上質なゆとりを格安な料金で導入しました。“唯一無二”の存在でありたく今後もおもてなしの心で奈良の良さをご案内していきたいと思います。

吉田個人観光タクシー 吉田利明

シリーズ「會津 八一」

歌人・美術史家・書家である會津八一(1881～1956)は、奈良の寺や仏像に関して深い学識に支えられた短歌を詠んでいる。その歌は難解だと言われるが、背景となる歴史や文法等に関して自ら注釈した『自註鹿鳴集』(岩波文庫)を読めば深く理解することができる。

八一の書が彫られた歌碑は奈良県内に21基ある(旧日吉館2基、集字による橘寺1基含む。奈良市14、斑鳩町6、明日香村1)。このうち、八一が彫り等に関し指示を与えた奈良市内の4基が特に重要である。

◎ 新薬師寺「香薬師を拝して」
ちかづきて あふぎみれども みほとけの みそなはすとも あらぬさびしさ

近寄って仰ぎみても、み仏が自分を認めて御覧下さるともないこのうらさびしさよ。(吉野秀雄『鹿鳴集歌解』。以後、大意は同書による。)

香薬師は高さ75cmの白鳳仏「香薬師如来立像」のことで、境内西にある香薬師堂に祀られていた。八一は《みほとけの うつらまなこに いにしへの やまとくにはら かすみてあるらし》とも詠んでいる。

中央公論社社長の嶋中雄作により初めての歌碑が建てられたのは、昭和17年4月26日だが、その翌年の3月、香薬師像は盗難にあい不明となったままだ。その報を聞いて、八一は《みほとけは い

まさずなりて ふるあめに わがいしぶみの ぬれつつかあらむ》と詠んだ。

ただ、実物をかたどった石膏から複製が作られ、現在は本尊「薬師如来坐像」向かって右のお厨子の中に安置されている。

歌碑は高さ162cmの仙台石で、本堂の西に建っている。

(池内 力)



新薬師寺歌碑 香薬師(新薬師寺 HP)

花だより

3月 伝香寺の散り椿



巨勢^{こせ}山のつらつら椿^{つらつら}に見つ^しつ思^しはな巨勢の春野を

坂門人足^{さかとのひとたり} (万葉集巻1-54)

東大寺の糊こぼし、伝香寺の散り椿、白毫寺の五色椿が奈良三名椿として有名です。

個人で無料公開されている大和郡山市の椿寿庵では約1千種、約6千株が咲き競います。

4月 本郷の瀧桜 (又兵衛桜)



最近^{さいきん}は桜の名所だけでなく、一本桜の^{いっぽん}人気も高いようです。

本郷の瀧桜 (又兵衛桜)、仏隆寺の千年桜、大野寺の小糸枝垂桜など有名な古木があります。

一本桜は、つぼみや開花の状況が地元で農作業の準備をする基準となっていたこともあり、人々に昔から大事にされてきました。

5月 春日大社神苑の藤



春日大社で最も有名なのは拝殿前の「砂ずりの藤」ですが、神苑・万葉植物園内の「藤の園」で、20品種約200本の紫、白、ピンクなど色とりどりの花が香り高く咲き乱れる姿は圧巻です。

また神苑を出て境内を散策しながら、樹上に咲く山藤の花を発見するのも楽しみです。(石田 一雄)

ガイドグループ・春の特別企画 参加者募集中!

(A) 飛鳥一桜咲く飛鳥で、古代の裁判「盟神探湯^{くしかたもち}」を楽しむー

- ・4月5日(日)9時40分、近鉄飛鳥駅集合
- ・みどころ: 桜の甘樫丘、天武・持統天皇陵、甘樫坐神社

(B) 斑鳩ー奈良街道から斑鳩三塔へ。飛鳥の美仏拝観ー

- ・4月12日(日)9時30分、JR大和小泉駅集合
- ・みどころ: 法起寺、法輪寺、法隆寺東院伽藍・救世観音拝観

(C) 當麻ー當麻練供養の日、中将姫ゆかりの地を巡るー

- ・5月14日(木)10時、近鉄當麻寺駅集合
- ・みどころ: 當麻寺練供養、中将姫墓所、傘堂、石光寺

参加費: 各コース300円(お客様の社寺拝観料は別途必要)

お申込み・お問合せ ホームページ <http://sguide81.blog.fc2.com/>

(キーワード「まほろばソムリエと巡る大和路」で検索可能)

または FAX: 0742-90-1037

コース(A/B/C)と、代表者の氏名・連絡先を記入ください。



当麻寺練供養



法隆寺夢殿



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地: 〒630-8333 奈良市中新屋町23番地 中江ビル302号室

あすなろ行政書士事務所内

ホームページ: <http://stomo.jp/>

メールアドレス: info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ): <http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード